



三春中学校だより

第 14 号

発行日 令和 元年 7 月 4 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

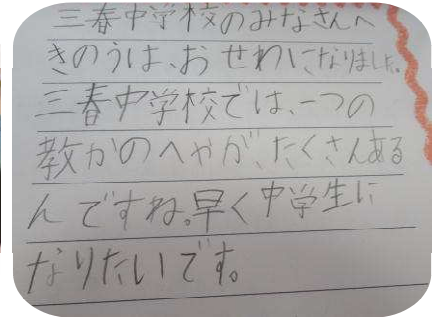
E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる!』

【三春小の2年生来校！～小学校から学んでいる“三春”についての学習を中学生らしく。～】

先日、三春小学校の2年生が、『三春町探検』で中学校を訪問してくれました。中学生の半分くらいの体で、遠くまで歩いてきて、三春中学校について勉強しようと一生懸命でした。後からきちんと礼状が届き、その中には、三春中学校を実際に見学してみたことが書かれていると共に、「早く中学生になりたい。」と書かれたものもありました。

三春の町については小学生の低学年のうちから勉強しています。本校における『地域学習』『三春学習』『職場訪問』等においては、ぜひ、わかったこと、気づいたことと共に、将来の三春をしょって立つ存在として、その学習を通して、『自分はこの町でどう過ごしていったらいいのか。』『社会における自分の役割は何なのか。』など、中学生にふさわしい学びとなるよう働きかけてまいります



【いよいよ県大会へ！～モニターも日頃のがんばりに100点を出しました。～】

毎朝、校門に立っていると、朝の陸上練習に取り組む生徒たちが次第に集まってきて、顧問の先生と共に、県大会や支部駅伝などにむけて練習を積み重ねる生徒たちの姿を見ることが出来ます。7月3日(水)から始まった県陸上の日も、グラウンドでは、顧問の先生と共に黙々と練習の励む子どもたちの姿が見られました。毎朝毎朝の積み重ね、何気ないことのように目には映りますが、グラウンドでひたむきに走り込む子どもたちも、当然さまざまな葛藤を感じながら生活しているはず。時には続けることを迷うこともあるでしょう。そんな自分に打ち勝ち、毎朝、練習に汗を流す子どもたちの姿を校長として誇らしく背中を眺め、登校してくる子どもたちと校門であいさつを交わしています。

悩み多き年代の子どもたちです。だからこそ、温かく、厳しく見守っていきたいと思います。そんな子どもたちにポストの電光板は、『100点』を掲示していました。



【ちょっとしたことですが！～暑さに備えた学びの環境づくりを心がけています。～】



本当にちょっとしたことですが、とても自慢できることをお伝えいたします。

ある暑い日の朝、校舎内をうろついていると、ふっと目にとまったものがありました。音楽室、図書スペース、体育館の『窓』です。決して昨日閉め忘れたわけではなく、その場所の管理者が、子どもたちの学びやすい環境づくりのために窓を開けてくれていたのです。暑い中での活動では能率が上がりづらいのは当然のことです。その教室の先生は、子どもたちのことを考え、少しでも学びやすい

環境を準備しておこうという気持ちだったと思います。本当にちょっとした、大切なことでした！

【“具体的な連携”を小・中で！ ～『三春中学校区生徒指導単位部会』を開催しました。～】

6月26日（水）の午後、三春中学校において、『三春中学校区生徒指導単位部会』という会合を行いました。三春・御木沢・中妻・中郷・沢石・栗田の三春中学校で学ぶ生徒の出身小学校6校の先生方と中学校の教員が、中学校の授業等をもとに、小・中の生徒指導面での具体的な連携の在り方について話し合う機会でした。小学校と中学校の9ヶ年を見通した教育の展開は以前より大切なこととして考えられてきた事柄でした。県内には、小中一貫校や義務教育学校が次々と設置され、これまでに以上に充実した教育の機会を準備しようと計画・実施されています。

三春中学校区においても、9ヶ年を見通し、子どもたちに同じ方向性をもって指導にあたり、繰り返すと積み重ねを大切に、児童生徒にわかりやすい、一貫した教育を展開していこうという取組の一つです。『生徒指導』『学習指導』『特別支援教育』『養護教諭』の4部会を設定し、それぞれの部会で小・中の具体的な連携について協議・決定しました。以下にお示ししたのがその連携の具体的な提案・提言です。三春中学校区の各小学校・中学校では、この協議・提言をもとに実践が行われ、年末には第2回の単位部会を開催し、具体的な連携の成果と課題について再び協議し、それ以降のさらなる小・中連携のもとでの教育活動の充実をめざしていく予定となっています。



『より具体的で、効果的な小・中連携をめざして』

1 三春中学校区単位部会協議記録『生徒指導部会』より

(1) 指導助言

- ① 小・中の先生方が一緒に考え一緒に取り組んでいくことが大切である。
- ② 制限のないメディア使用で、肥満、運動能力・視力の低下、脳の発達障害など健康被害についてすべての児童生徒・保護者に届けていく。
- ③ 「こうしましょう。」(今日はノーメディアデーです、家庭学習時間は学年+1時間です。) だけではない指導も必要である。
- ④ 小学校、中学校とも、担任間、教師間で情報をしっかり共有していくことが大切である。

(2) 提言・提案

- ① **子どもたちと共に学習時間について考え夏休みの過ごし方に目標として入れてはどうか。**
- ② **夏休みのめあての中に、メディアとの付き合い方をに入れてはどうか。**

2 三春中学校区単位部会協議記録『学習指導部会』より

(1) 指導助言

- ① 実態把握、主体性の喚起、学習訓練など、児童生徒が安心して学べる学びの環境づくりに努めたい。
- ② 生徒指導の3つの機能（自己決定：自ら求めて自ら動く、自己存在感：どの発言も理由も含め再評価、共感的人間関係：尊重し合える学級経営の充実）を生かした授業づくりに努める。

(2) 提言・提案

- ① **よい聞き手をつくろう。最後まで聞いて、それから自分の意見を話そう。**
- ② **余裕のある授業準備と時間の使い方を指導し、とりかかりの差をなくそう。**
- ③ **ステップをふんで学習時間を延ばしていこう。**
- ④ **生徒の「自主学習」で、計画性・継続性をもって学習する力をつけさせよう。**
- ⑤ **音読で速く正しく読む力、時間を決めてまとまりで板書を写し、速く正しく読める字でかける力をつけさせよう。**

3 三春中学校区単位部会協議記録『特別支援教育部会』より

(1) 指導助言

- ① 返事、あいさつ、整理整頓などの基本的な生活習慣の指導を将来の自立につなげたい。
- ② 負荷や失敗を経験させながら成功させていくことで自己肯定感が生まれる。
- ③ 社会にどう出て行くかの視点を持ち、一人ひとり違う自立を考える。他から認められかわいがられる人との関わり、意思表示の力をつけさせたい。

(2) 提言・提案

- ① **困ったときに尋ねられ、ヘルプサインをきちんと出せ、うまくコミュニケーションができるよう、伝えることの大切さを指導し、伝える力を身につけさせよう。**
- ② **進路を見据え、あいさつ、忘れ物をしない、宿題を必ずやるなどがきちんと自分のできる力を身につけさせよう。**

4 三春中学校区単位部会協議記録『養護教諭部会』より

(1) 提言・提案

- ① **歯質強化、永久歯虫歯を作らないため、フッ化物洗口に連携・協力して取り組もう。**
- ② **給食後の歯磨きの磨き残しがないように、ブラッシング指導を充実させよう。**
- ③ **治療に行きやすいよう、部活動などの校内各分掌が連携・協力して働きかけよう。**